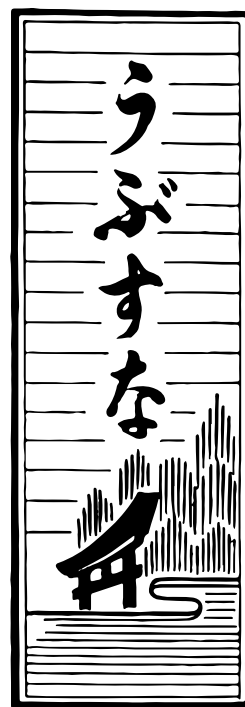


第六十三回神宮式年遷宮はじまる



金神社



発行所 岐阜県神社庁
岐阜市藪田南3-8-24
TEL 058-273-3525
FAX 058-273-9927
<http://www.gifu-jinjacho.jp/>

印刷 (有) エムシー
岐阜市本荘西4-12-1
TEL 058-253-5931

御樋代木奉迎送終へて



岐阜県神社庁 庁長 本郷 啓介
(金神社宮司)

令和十五年の第六十三回神宮式年遷宮については、昨年四月に御聴許を拝してより御準備が進められ、今年五月に山口祭・木本祭が、六月三日には御樋始祭が斎行され、本格的な御造営事業が開始されました。長野県上松町と並んで、我が岐阜県に於いては、中津川市加子母の国有林にて「裏木曾御用材伐採式」が斎行され、古式の伝統技法「三ッ緒伐り」によって、二本の御神木「御樋代木」が伐採され「木の国」「山の国」の各地にて奉曳・奉迎祭を行ひ、無事三重県へと奉送されました。天候にも恵まれ、日の丸の小旗を振っての奉迎、神興、郷土芸能の太鼓・踊り、木遣り音頭、吹奏楽等様々な奉迎送行事が全ての地域で盛大に行はれました。中でも、感動した事は子供達の参加が多かった事です。二十年后に、この日、この時を思ひ出していただければ幸いです。



多くの皆様のご協力を賜りましたことに感謝申し上げます。
岐阜の伝統の中に育まれてきた文化と、神宮への崇敬厚い人情が融合した奉迎送、見事に納める事が出来ました。今後も、御遷宮に向けて、奉賛活動に全力で取り組んで参ります。皆様には更なるご協力を賜りますようお願い申し上げます。

選挙を振り返り 今後の活動方針



神道政治連盟岐阜県本部

本部長 谷田 吉暢

(桜山八幡宮宮司)

先の厳しい参議院選挙結果を踏まへ、従来の活動に反省面もありますが、時代が変はらうと、不易流行なる日本の美しい国柄を守り伝えることが本連盟の使命故に、今後の次の運動には、神社関係者各位のご指導と、ご理解・ご協力をお願い申し上げます。

一、万世一系による皇位継承の大原則を維持するために、男系男子孫による皇位の安定的維持や女性皇族にご結婚後も皇室活動を維持していただくための方策を講じるなど、皇室制度全般の整備充実に努め、「女系天皇」に繋がる所謂「女性宮家」創設には反対します。一、憲法改正については、停滞し

てゐる衆参両院における憲法論議の活性化に向けて尽力します。独立国日本の領土、国民の生命・安全を守るべく、あらゆる非常事態に備へた緊急事態条項新設を目指し、自衛隊の明記や関連法の整備充実に努めます。

一、教育基本法の理念、目標とされてゐる「歴史と伝統の尊重」「徳性の涵養」「郷土と国を愛する心の育成」「宗教的情操の涵養」などの教育が実現されるやう務めます。

一、国難に殉ぜられた英霊の慰霊・顕彰に努めます。

一、伝統的な家族制度の崩壊につながりかねない選択的夫婦別氏(姓)制度の導入に反対します。

一、北朝鮮による拉致問題の早期完全解決に向け、政府に対し積極的対応を求めています。

一、我が国の稲作農業と食料の保全保障の確保に努めます。昨年から著しい米価の値上げも、本連盟が危惧した状況になりました。引き続き、瑞穂の国と誇れる農地と農業人口を継続できる社会を取り戻す運動を継続してまいります。

神宮大麻暦頒布終了奉告祭

三月六日、神社庁神殿に於いて、神宮大麻頒布終了奉告祭を斎行した。神宮より木本雅文禰宜をお招きし、上月智也副庁長が斎主を務め、神社庁役員・総代会役員・各支部長・事務長が参列した。



続いて、神宮大麻頒布推進会議を開催し、令和六年度の頒布状況を報告するとともに、木本禰宜より、第六十三回神宮式年遷宮についてご説明をいただいた。六月開催の御神木奉迎送に向け、機運が一層高まった。

岐阜県神社関係者大会

四月二十三日、高山市民文化会館に於いて、県内の神社関係者が集ふ岐阜県神社関係者大会を開催した。一〇三二名の参加があった。通例の長良川国際会議場は工事中で使用できないため、今年度は高山での開催となった。



大会に先立ち、午後一時より、元神宮司庁営林部部长笹岡哲也氏による講演を行った。演題は「神宮の森の役割とその管理について」であった。神宮の森の概要と、その変遷や管理について説明してい

ただき、六月開催の御神木奉迎送への機運を高めることができた。

講演後の大会には、来賓として、神社本庁統理鷹司尚武氏御名代の神社本庁常務理事藤江正謹氏、神宮大宮司久邇朝尊氏御名代の神宮禰宜久田哲也氏にご臨席いただいた。

神宮遥拝・国歌斉唱・敬神生活の綱領唱和に続いて、長年に亘つて功労があつた方々の表彰を行ひ、庁長式辞・来賓祝辞・被表彰者謝辞が述べられた。

協議では、次の三議題が提案された。(一)内は提案者

一、氏子意識を基本とする共同体意識の涵養とともに神社の公共性を顕現し、地域共同体との連携を深め、神社と地域の活性化に努めるの件

(神社庁牛丸大吾理事)

一、皇室敬慕の念の更なる醸成に努めるとともに、次期神宮式年遷宮を見据えた神宮奉賛の意義啓発に努めるの件

(神社庁伊藤治夫理事)

一、「三大神勅の心」を次世代に継承すべく、神話教育の充実を図り、伝統文化の普及に努めるの件

(神道振興会金井裕則会長)

続いて、神社庁洲岬孝雄理事が大会宣言案を朗読し、三議題・宣言案いづれも満場の拍手を以って承認された。結びは、岐阜県神社総代会桑原善吉会長の発声による聖寿万歳で締め括った。

御神木奉迎送

六月三日、木曽谷国有林で御杣始祭が行はれた。五日の裏木曽御用材伐採式に始まり、六日から九日にかけて、岐阜県内各地に於いて、御神木奉迎送が盛大に行はれた。

六日の午前八時、護山神社を出発した御神木は、道の駅花街道付知、福岡総合事務所、ドライブイン元越に立ち寄られ、中津川駅前での奉曳の後に、ふるさとにぎわい広場に奉安された。

翌七日午前七時、ふるさとにぎわい広場を出発した御神木は、瑞浪駅前での奉曳、瑞浪中央公園お立ち寄り、可児市のカヤバ岐阜北工場駐車場での奉曳、同市の白髭神社にお立ち寄りの後に、岐阜市内を奉曳され、金神社に奉安された。翌八日午前七時に金神社を出発

した御神木は、伊奈波神社、六條神社にお立ち寄りの後、垂井町の南宮大社、羽島市の八剣神社、海津市の今尾神社にて奉曳し、桑名市の河川敷にて、目出度く三重県に引き渡された。

神職祖霊殿祭 協議員会・事務長会

六月二十五日、神社庁神殿に於いて、神職祖霊殿祭が厳粛に斎行された。斎主は谷田吉暢副庁長が務めた。



神職祖霊殿祭合祀者(敬称略)

・岐阜市支部
岐阜護國神社

宮司 宇都宮幸嗣

加納天満宮

権禰宜 林 その子

・吉城郡支部

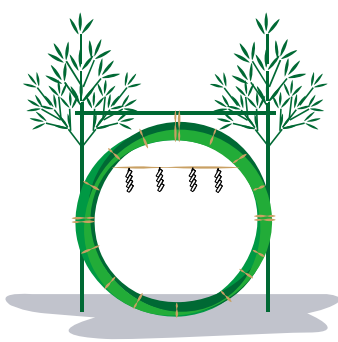
高田神社 宮司 田近 豊丸

続いて、神社庁研修室に於いて、六月定例協議員会が開催された。

令和七年度神社庁事業計画・歳入歳出予算が上程され、協議の結果、可決・承認された。

午後開催の事務長会では、協議員会で承認された事項及び事務手続きや負担金について、説明を行った。

事務長会終了後には、関係支部による御神木奉迎送についての反省会を行ひ、二十年後の奉迎送に備へて情報を共有した。



令和6年度 神宮大麻頒布表

	神宮大麻	神宮中大麻	神宮大大麻	頒 布 数	過去三年 平均頒布数	比較増(▲減)
岐 阜 市	34,890	1,507	71	36,468	38,140	▲ 1,672
高 山 市	11,002	160	22	11,184	11,509	▲ 325
大 垣 市	9,500	250	6	9,756	10,003	▲ 247
多 治 見	7,140	316	16	7,472	7,538	▲ 66
関 市	7,854	503	47	8,404	8,438	▲ 34
美 濃 市	4,050	70	24	4,144	4,174	▲ 30
美濃加茂市	4,799	247	48	5,094	5,267	▲ 173
瑞 浪 市	5,402	340	56	5,798	6,270	▲ 472
各 務 原 市	11,730	541	142	12,413	13,262	▲ 849
中 津 川 市	11,098	666	123	11,887	12,138	▲ 251
羽 島	13,545	261	46	13,852	14,322	▲ 470
海 津 市	5,430	112	15	5,557	5,895	▲ 338
養老上石津	5,950	102	43	6,095	6,253	▲ 158
不 破 郡	6,200	555	40	6,795	6,913	▲ 118
安 八 郡	6,210	290	21	6,521	6,766	▲ 245
揖 斐 郡	9,530	483	29	10,042	10,638	▲ 596
本 巢 郡	10,761	396	56	11,213	11,859	▲ 646
山 県 市	4,072	282	31	4,385	4,619	▲ 234
武 儀	2,652	812	37	3,501	3,632	▲ 131
郡 上 市	8,993	296	35	9,324	9,588	▲ 264
加 茂 郡	9,658	739	144	10,541	11,008	▲ 467
可 児	8,740	350	39	9,129	8,733	396
土 岐	7,710	140	52	7,902	8,364	▲ 462
恵 那 市	6,759	469	147	7,375	7,680	▲ 305
益 田	0	6,460	120	6,580	6,910	▲ 330
大 野	0	4,678	108	4,786	4,755	31
吉 城 郡	6,525	1,146	30	7,701	8,383	▲ 682

岐阜県神社庁 令和7年度 歳入歳出予算

令和7年7月1日～令和8年6月30日

【歳 入】

1	幣 帛 料	900,000 円
2	交 付 金	127,100,000 円
3	神 殿 初 穂 料	50,000 円
4	負 担 金	33,970,000 円
5	財 産 収 入	60,000 円
6	諸 収 入	19,900,000 円
7	前 期 繰 越 金	13,000,000 円
	歳 入 合 計	194,980,000 円

【歳 出】

1	幣 帛 料	3,000,000 円
2	神宮神徳宣揚費交付金	49,000,000 円
3	会 議 費	6,750,000 円
4	神 事 費	2,850,000 円
5	庁 費	51,900,000 円
6	事 業 費	25,460,000 円
7	負 担 金	41,000,000 円
8	積 立 金	12,750,000 円
9	予 備 費	2,270,000 円
	歳 出 合 計	194,980,000 円

創立六十五周年記念事業 沖縄慰霊祭を斎行

岐阜県神道振興会 会長 金井 裕則

本年は当会創立六十五周年を迎える節目の年であり、様々な記念事業を展開します。その最初として五月二十日、沖縄県糸満市、平和祈念公園内の岐阜県の塔において『沖縄慰霊祭』を斎行しました。

本慰霊祭は、先の大戦において沖縄をはじめ遠い南方の地で尊い命を捧げられた御霊^{みたま}に対し、深甚なる追悼の誠を捧げるとともに、恒久平和への祈念を新たにすることを目的として執り行ったものであります。

振り返れば、前回の創立六十周年記念事業として同様の慰霊祭を企画してゐましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、中止の判断を余儀なくされました。その無念の思ひは会員一同、深く胸に刻んでまゐりました。今回、やうやくその思ひを晴らすべく、心をひとつにして本事業に臨んだ次第であります。

今回は、二十八名の会員が参加し、慰霊祭前日には、沖縄県護国

神社にて正式参拝を行ひ、加治順人^{かじのり}宮司より、沖縄戦や沖縄の人々が護国神社に寄り添ってきた歴史についてお話し頂きました。慰霊祭当日には、全員で祭場を準備し、細江貴裕副会長が斎主を務め、慰霊祭を斎行しました。

第十六代会長梅村幸司氏を筆頭に、歴代会長や多くの会員が参列しました。

また本郷啓介庁長をはじめ、各支部・各神社より賜った多くの献花を供へて盛大に祭典を執り行ひ、御霊の安寧と、未来永劫の平和を祈念する真心の祈りを捧げました。

また、現地には戦禍の爪痕が今も深く刻まれてゐること、平和の尊さがいかに尊重されるべきものであるかを、改めて実感する機会ともなりました。参加会員一同、慰霊の心とともに、平和への誓ひを新たにし、これを次世代へ継承してゆく使命を痛感いたしました。本会では、今後とも英霊の慰霊と顕彰に誠を尽くし、散華された御霊の安寧を祈り続けるとともに、平和を希求する精神を広く社会に伝へ、積極的な平和活動に邁進してまゐります。



岐阜県女子神職会活動報告

会長 服部 直美

岐阜県女子神職会では、令和六年十二月六日(金)に、岐阜市蔵前の手力雄神社にて、祭式研修会を開催しました。大野道子宮司を講師として、午前中は社務所にて基本作法を行ひ、午後は表着を着装し、拝殿にて総合祭典を行ひました。広い拝殿での作法で、戸惑ふこともありましたが、丁寧にご指導をいただき、和やかな研修会となりました。

東海地区女子神職研修会は、六月二十三日(月)に長野県安曇野市の穂高神社参集殿で開催されました。①穂高神社宮司 保尊^{ほるとも}勉先生の「安曇野の風土と穂高神社について」②姿勢スタイリスト 坂上晃子先生の「日常動作で作る柔らかな姿勢の最強説」を拝聴しました。全国女子神職協議会の教養研修会は、十月三十日(水)に神社本庁大講堂で開催されました。①埼玉県神社庁参事 武田淳先生の「神社ファンを作ろう!」教化活動とは何かを考える」②國學院大學神



道文化学部教授・大平山神社宮司
小林宣彦先生の「装束について」
の講義を拝聴しました。

来年は岐阜県が、東海地区女子
神職研修会の当番県です。各種研
修会は様々な事を学びながら親睦
を深める良い機会です。加入を希
望される女子神職の方は会長まで
ご連絡下さい。

☎〇五八四―二二―三六九二

会長 服部 直美

過疎地域神社活性化施策

指定神社 白山中居神社

宮司 石徹白 洋子

二月二十六日、二十七日に神社
本庁で行はれた第二期・第三期合
同過疎対策研究会に出席し、二十
六日は講演会と分散会、二十七日
は分散会と全体会に加えて講義を
受講しました。様々な神社の施策
に関する講義を通して、止められ
ない過疎に対してどのやうに向き
合っていくのか、考へを深めてま
りました。その中で、無い物探
しではなく、今有る物を探し出し
て、その魅力を発信していくこと
の成功例が示され、それが深い山
中に在って、溢れる自然と歴史の
ある当神社にも当てはまると確信
しました。

昨年からの取り組みとして、当
神社を多くの方々にお伝えする事
が活性化に繋がる第一歩だと考へ
て、ホームページとYouTube
動画の制作に取り組んでまゐりま
したが、神社の尊厳を守り、且つ
現代的に自然の美しさを表現でき
る内容を心掛けました。

現在、ホームページに対する質
問や祈祷の申し込みなどが来てゐ
ることに加へ、YouTubeに上
げた動画の視聴回数も日増しに増
えてをります。

これらの結果を精査して、ホー
ムページと動画を活用して行きた
いと思ひます。



【ホームページ】

<https://hakusan-chukyo.jp>



【動画】

https://youtu.be/APvrMcV_V8U



社寺建築◆御調度品◆御装束

神社・寺御用

株式会社 甲 村

〒463-0075 名古屋市守山区新守西1608
電話代表 (052) 792-1202
FAX (052) 792-1293 JR新守山駅店

太鼓作り900有余年 本木製ならではの品格と質の高さは最上級

原木・原皮からの
一貫生産
工場直売在庫豊富
各品速納
カタログ送付諸太鼓製造元 津島神社他多数御用達
○神社・仏閣・教会用○雅楽・能楽用各種○祭礼用・舞台用・他

堀田新五郎 商店

☎(0567) 26-2412(代)

愛知県津島市下新田町5丁目123 FAX 24-7663
http://hottashingoro-taiko.com E-mail: shingoro@pony.ocn.ne.jp建築部 国宝・重要文化財保存修理工事・社寺建築工事
屋根部 檜皮葺・柿葺・銅板葺 (屋根形木工事共)

田中社寺株式会社

代表取締役 田中 敬二

(株)丸繁建築設計事務所

〒500-8483 岐阜市加納東丸町2丁目20
電話 (058) 272-2871(代)
※御見積書等・御一報次第参上致します。【事業内容】 神社建築設計施工・社殿製作・神棚・御霊舎製造販売
神祭具・内陳調度品・おみこし製造販売・レンタル神輿

古の伝統 受け継がれる技 築き上げた信頼



創業明治二十八年

株式会社 唐箕屋本店

〒500-8104 岐阜県岐阜市美園町3丁目4番地
TEL(058)263-3311 FAX(058)263-4300
http://www.tomiyahonten.com
E-mail info@tomiyahonten.com神社・仏閣建築請負
設計施工、神棚、神具

(有)白鳳社寺

(旧 唐箕屋社寺工務店)

鵜工房一級建築士事務所 高崎 勝則

岐阜市金園町4丁目3番地 電話(058)264-0068
https://hakuhoushaji.com

伊勢 名物 赤福

本店
〒516-0025
伊勢市宇治中之切町26番地
電話 0120-081-381
https://www.akafuku.co.jp

社殿・神棚・神祭具・御装束・製造販売

株式会社 富田 神具

〒503-2122 岐阜県不破郡垂井町表佐1385番地
TEL(0584)22-5320 FAX(0584)22-5978
http://www.tomida-shingu.co.jp神社・仏閣・灯籠・記念碑・
墓石・造園・他石材工事一式

JAいび川指定業者



松井 石材

岐阜県揖斐郡大野町稲富2348
電話 (0585) 32-1114 FAX (0585) 34-1196

神具 装束 大正七年 創業

助 藤 屋 助右衛門

〒509-1622 下呂市金山町金山2051
TEL 0576-32-2074 FAX 0576-32-2039社寺一般建築請負
岐阜県伝統建築認定第3号

堀 堀部建設株式会社

岐阜市芥見堀田57番地
TEL (058) 243-1715
FAX (058) 241-2567



護山神社



道の駅花街道付知



福岡総合事務所



苗木地区
ドライブイン元起



中津川駅前・
ふるさとにぎわい広場



瑞浪駅前



瑞浪中央公園



カヤバ株式会社



白鬚神社



金神社



伊奈波神社



六條神社

南宮大社



写真提供 羽島市



写真提供 奥田正裕

八劔神社



今尾神社



桑名

御桶代木奉迎送祭を斎行

中津川市支部 大橋 博昭

中津川市が広域合併してから、初めての奉迎送となった。行政サイドでは実行委員会を、神社関係においては奉賛会を立ち上げ、昨年末から情報を共有しつつ、「御神木祭」として計画を進めてきた。

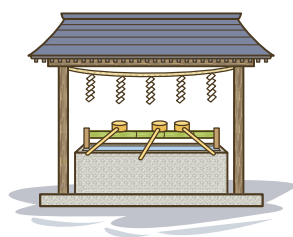
六月五日には、伝統伐採技法で切り出した御神木を付知町の護山神社に奉安し、約四百人の参加のもと、夜九時より神事を行った。

翌日九時、中津貨物自動車(株)の新車にて奉送され、最初の奉迎送祭を行ふ「花街道付知」において、神事の他、伝統の催し物、並びにお木曳が行はれ、千人を超える人々が祭りを大いに盛り上げた。

続いて、福岡総合事務所では、約六百人が見守る中、庚申太鼓による盛大な歓迎から始まり、一時間程のセレモニーの後に、次の会場である苗木の「元祀」に奉送された。

苗木では、約三百人が御神木を迎えた。最後の会場である中津川駅前では、一般市民参加のもと、

「ふるさとにぎわい広場」までの数百メートルをお木曳し、神事を行った。地歌舞伎公演、コンサート、手筒花火、スカイランタン、太鼓の競演など、盛大にイベントが開催され、延べ八千人が御神木を迎えることが出来た。



第六十三回神宮式年遷宮 御神木奉曳、奉迎送祭

瑞浪市支部

昨年春の御聴許を受けて、瑞浪市支部九百人、土岐支部二百五十人、多治見支部百五十人の協力のもと、瑞浪商工会議所会頭影山助夫氏を会長として御木曳奉賛会を立ち上げ、一年余りに亘って準備を進めてきた。

今回は、二十年前の資料を紐解き、試行錯誤によって新しい発想を交へながら、やうやくこの日を迎えることができた。

六月七日、瑞浪駅前にて、中京高等学校吹奏楽部と太鼓部の演奏の中、御神木車に綱が取り付けられ、千三百人の奉賛会員が位置に着いた。午前九時、二見浦茶屋清渚連の木遣の合図で奉曳が開始された。瑞浪市役所前までの約六百メートルの沿道には、多くの人々が集まり、国旗を振って御神木をお迎へした。

奉曳を終へた後は、瑞浪中央公園にて奉迎送祭を斎行した。御神木の入場時、神事の前には麗澤瑞



浪中学・高等学校の吹奏楽部と太鼓部の演奏、出発時には二見浦木遣が披露された。

多くの人々に、二十年に一度しかない感動を覚えてもらへたと思ふ。

御神木は、十一時三十分、人々に見送られて、次の会場である可児市に向かって出発した。

杣人の伐採技術、木遣の伝授など、二十年后に引き継ぐことの大切さを伝へ聞き、今回の御木曳で得た経験を次世代にうまく伝えていきたい。

第六十三回神宮式年遷宮 御樋代木奉迎送

不破郡支部長 富田 猛

六月八日九時五十分、ご神木が南宮大社に到着されました。祭典を盛況のうちに終へることができ、無事に次の地域へとお見送りできました。

ご奉賛下さいました皆様のおかげと、深く御礼申し上げます。

この一大行事を成功させるべく、南宮大社を中心として、不破郡支部、西濃地域の神社が一丸となりこの大慶事に臨みました。不破郡支部内の南宮大社にお立ち寄りいただけると決定してから一年半ほどの間、少しずつ行事の骨格を作り上げ、形を整えてまいりました。南宮大社の外部団体の方々をはじめ、氏子の皆様のご協力を仰ぎながら、地域を挙げて取り組んでまいりました。

前回の御樋代木奉迎送を超えるお出迎へができるやう、神賑行事に西濃地域の団体のご協力をいただきました。地元の宮代太鼓踊り保存会、表佐太鼓踊り保存会をは



じめ、大垣西高等学校和太鼓部、関ヶ原合戦太鼓保存会、関ヶ原鉄砲隊の皆様、また、小旗による奉迎行事でご協力いただきました宮代こども園、宮代小学校の皆様、誠にありがとうございました。

御樋代木奉迎送を皮切りに、神宮の式年遷宮は始まったばかりです。これより先も、不破郡支部、地域を挙げてご奉賛させていただきますたく存じます。令和十五年の遷宮に向けて支部内での教化に力を入れ、式年遷宮にご協力させていただきます。

第六十三回神宮式年遷宮 御樋代木奉迎送

羽島支部 奥村 知世



御樋代木奉迎送のお手伝ひをさせていただきます感謝申し上げます。御神木の載せられたトラックを、竹鼻八剣神社にて、二基の山車、羽島太鼓演武奉納、氏子約千人の拍手、日の丸の旗振りでお迎へし、神事の後、高らかな掛け声と共に奉曳の白綱をお曳きました。その後、美濃の地を経て伊勢へと向かはれる御神木を万歳でお送りさせていただきます。有難い奉祝行事でございました。

支部神社役員総代研修会実施

養老上石津支部

養老上石津支部は、五月三十一

日(土)、養老町のゆせんの里にて

神社役員総代研修会を開催した。

役員・総代六十一名が参加した。

(研修一)

堀田尚宏神職による祭式作法講

習。

支部制作の「神明奉仕の手引き」



(右図)をパワーポイントで映写

し、祭礼斎行に必要な基本知識と

神饌献撤と玉串拝礼の作法を学ん

だ。その間、神職は机間を回って

指導に当り、総代が自信をもって

神事に臨めるやう、きめ細かな講

習を行った。



(研修二)

森川一俊支部長による講義

「第六十三回神宮式年遷宮に向け

て」(右写真)。

前回の式年遷宮のビデオを上映

し、式年遷宮の意義と歴史、山口

祭に始まり遷御に至る今後の行事、

氏子の皆さまにお願いしたい事等

を、明治天皇御製の和歌を示しな

がら説明。役員・総代に深い知識

と強い意欲を持っていただけるや

う働きかけた。

支部神社役員総代研修会を開催

加茂郡支部

潮南神社 宮司 長谷部敏行

梅雨明け間近の六月二十九日午

後一時三十分から、八百津町和知

センターにおいて、地元八百津町

長・同議長を来賓にお招きし、管

内八百津地区神職・総代七十三名

が参集して、支部神社役員総代研

修会を開催した。

当日配布された『神社役員総代

研修資料』を基に、「神社規則に

ついて」を支部長から、「祭式作

法について」を教化部長から、そ

れぞれ講義を受けた。「神社規則

について」では「神社本庁憲章」

など各規則について具体的な事例

なども取り上げて、分かり易い説

明があった。「祭式作法について」

では、神饌献撤の作法をはじめ、

足の運び方など、総代さんには非

覚えていただきたいことについて、

細部にわたるお話があった。講義

の終はりには、出席者全員が玉串

の作り方を体験。紙垂のつけ方に

苦戦した方もあった。

最後に和知部会長の発声による

「聖寿万歳」で研修会を終へた。

因みに、この研修会は七月二十

日・八月十日に管内他地区でも同

様に行はれた。



大学生の例祭奉仕

益田支部うぶすな通信員 高木 真子

過疎化・高齢化は祖師野八幡宮

(宮司 加藤和男)の氏子地域に

においても同様であり、例祭の有様

にも影響してゐた。しかし、地域

の取り組みによって、そんな不安

に光が射してゐる。

当地区の集落支援員として移住

された鈴木亘さんや地域の人が中

心となり、「東地区集落環境保全

会」(以下「保全会」)が、閉校

になった小学校を拠点に、持続可能な地域作りに取り組んでゐる。

その活動の一つに「関係人口の創出」がある。縁あって、令和四年に、保全会と日本福祉大学社会福祉学部田中ゼミとの間に、相互発展のために連携・協力するといふ協定が締結された。それ以後ゼミ生たちによるいくつかの活動が地域で行はれるやうになった。

活動の一つとして、祭に興味を持ってもらひ、三年前から、例祭の御旅で、神饌を奉持する役を担ってもらってゐる。それまでは氏子が担ってゐたが、人口の減少と高齢化のため、役を減らすことなどが検討されてゐた。しかし、大学生の参加によって、今までと同様の神事が可能となった。奉仕する学生達の姿には、心をこめて三方を保持し、神にお仕へしてゐる様子が見られ、このやうな取り組みが神を身近に感じる機会にもなっているやうである。

今後も過疎化・高齢化に対する取り組みは続くが、地域で「関係人口の創出」に取り組む、大学生達の神事への参加が、地域と神社にとって心強い存在になってゐる。



神職教養研修会開催

吉城郡支部 上野 歳貴

五月二十日、吉城郡支部が当番となり、飛騨一宮水無神社参集殿に於いて、二十九名が参加して、飛騨神職会研修会を開催した。

正式参拝の後に研修会に入った。講師に高山警察署生活安全課係長を招き、神社の犯罪被害の中で一番多いと言はれる賽銭盗の対策について講話を頂いた。その中で、現在、水道の蛇口、消火栓、マンホールの蓋、電線などの盗難だけでなく、白昼に信じられないやうな凶悪な強盗も発生してをり、安全神話が完全に崩壊した日本社会の中で、神社の賽銭盗等の対処として、現在のところ、左記の方法が効果的であると教えていただいた。

一、録画機能だけでなくリアルタイムで見られる防犯カメラの設置

二、センサーライトの設置

三、異常感知等を警備会社や警察に通報する非常装置の設置

四、日没時の賽銭の回収



神職異動 (敬称略)

○新任

一月 一日 土岐 久尻神社 禰宜 井口 直哉

二月 一日 土岐 八幡神社 禰宜 眞野 勲

三月 一日 郡上市 若宮八幡神社 禰宜 河合 弘子

四月 一日 恵那市 津島神社 禰宜 安藤 康夫

五月 一日 吉城郡 気多若宮神社 禰宜 天木 司

六月 一日 不破郡 大領神社 禰宜 正村 有香

七月 一日 岐阜市 伊奈波神社 禰宜 河野 智紀

八月 一日 岐阜市 伊奈波神社 禰宜 伊藤 誓琉

○退職

十二月 三十日 岐阜市 金神社 権禰宜 高田 秀忠

三十一日 瑞浪市 若宮八幡神社 宮司 山内 賢司

一月 二十一日 岐阜市 岐阜護國神社 権禰宜 宇都宮正人

一月 二十二日 養老上石津 八幡神社 禰宜 三輪 元子

一月 三十一日 本巣郡 春日神社 宮司 児島 節子

二月 二十八日 岐阜市 金神社 権禰宜 丸山 敏樹

三月 三十一日 土岐 曾木神社 宮司 田中 和正

四月 二十日 美濃加茂市 武並神社 宮司 篠原 厚義

養老上石津 八幡神社 宮司 渡辺 剛

○帰幽

四月 二十日 天神神社 宮司 河村 登

行事予定 (令和七年八月～令和八年二月)

八月 六日(水) 東濃地区神社関係者大会

七日(木) 西濃地区神社関係者大会

八日(金) 中濃地区神社関係者大会

九日(土) 飛騨地区神社関係者大会

二十一日(木) 岐阜地区神社関係者大会

〃 監査会

〃 庁長副庁長会

九月 八日(月) 役員会

十月 二日(木) 神宮大麻頒布始奉告祭

〃 神宮大麻頒布打合せ会

〃 協議員会

二十八日(火) 全国神社総代会大会 (長野県)

三十日(木) 庁長副庁長会

〃 身分審議委員会

〃 役員会

十二月 一日(月) 〃 十五日(月)

〃 階位検定講習会 (直階)

〃 権正階基礎研修会 (前期)

〃 権正階基礎研修会 (後期)

〃 初任神職研修会

〃 新任神職研修会

〃 権正階基礎研修会 (後期)

〃 教化委員会

〃 教化委員会

〃 教化委員会

〃 教化委員会

〃 教化委員会

〃 教化委員会

〃 教化委員会

〃 教化委員会

〃 教化委員会

